

令和3年11月26日（金）令和3年度第2回障害者雇用促進セミナーを仙台市障害企画課との共催で開催しました。



今回は「やってみよう！障害者雇用」というテーマで、これから障害者雇用を始めるという企業の方を主な対象とし、8社8名の方にオンラインでご参加いただきました。第1部「はたらポート仙台について」、第2部「障害者就労移行支援事業所の紹介」という2部構成でお話しています。

**やってみよう！障害者雇用**

**第一部 はたらポート仙台について**  
はたらポート仙台 遠藤真理

**第二部 就労移行支援事業所の紹介**

manaby泉中央事業所	相澤果歩様
Rickeyクルーズあすと長町	渡部栄姫様
リヴァレ仙台花京院	鈴木成美様
就労支援センターほっぶ	貫洞正一様

第2部では就労移行支援事業所4機関にご協力いただき、各事業所の特色や取り組みについてご紹介いただきました。参加した企業の方からは、「どの事業所でも訓練内容やサポートは同一だと思っていたので、それぞれの特色があることを知れて良かった」という声が聞かれました。

お話の中では各施設の紹介だけでなく、障害者雇用を進めるために必要な準備、応募前の見学・実習の有無による定着率の違い、就労後のサポート、うつ病の治療過程とストレス対処方法など様々な情報を提供いただきました。

参加した企業の皆様からは「障害者の方を迎え入れる前の準備（受入れ体制）について参考になった」「雇用にあたって社内でも慎重な姿勢になってしまっていたが、各支援機関と連携を図り見学・実習等を取り入れていくことでミスマッチを軽減することができた」といったご感想をいただきました。

当センターでは障害者雇用を行う企業様のご相談もお受けしております。就労移行支援事業所様への見学などもコーディネート致しますので、詳しく内容を知りたいという場合にはお気軽にご連絡ください。

ご参加くださった皆様ありがとうございました。

## 令和3年度 障害者雇用促進セミナー（第1回）

令和3年8月6日（金）に令和3年度第1回障害者雇用促進セミナーを仙台市障害企画課、宮城県令和3年度障害者雇用プラスワン事業、宮城県就労移行支援事業所機能強化事業との合同開催というかたちで実施しました。



今回はコロナ禍ということもあり、オンラインでの配信とサテライト会場（仙台市福祉プラザ）での視聴という2つの形式での視聴方法をご用意しました。合わせて障害のある方や企業の方、支援機関の方など96名の方にご参加いただきました。（写真はサテライト会場の様子）。

「一人ひとりが安心して働き続けるために」をテーマに(株)デジタルハーツプラス仙台オフィスマネージャー瀧原様、働かれている障害のある方2名からお話を伺い、その様子を配信しました。



デジタルハーツプラスは(株)デジタルハーツの特例子会社として2019年10月に設立、特例子会社設立前から働いている方を含め仙台オフィスでは16名の方が働いています（令和3年8月時点）。

お話の中では、がんばる方向性が重要で例えば「がんばらなくてもできる方法を探す」ことをがんばると良いということや、移行支援事業所など支援機関との関わりの重要性についてなどをお話いただきました。（写真は仙台オフィスマネージャー瀧原様）

実際に働くお2人からは、働き続けるためのポイントとして、会社の方に相談することと余暇活動の充実という2点が挙がりました。会社の方に相談し一緒に解決を考えるうちに自身の特性への理解が深まり働きやすくなったというお話や、余暇の過ごし方ではコロナ禍で外出など今まで行っていた余暇が出来なくなったが、LINEを活用して友達と話しながら筋トレをしたり、SNSで情報発信をしたりとコロナ禍に対応した余暇活動のお話も伺えました。お2人自身の努力と共に会社でのサポート体制の大切さや支援機関の活用のメリットなどを聞くことができました。

ご参加くださった皆様ありがとうございました。